

Ⅱ 政策の企画・実行に当たっての基本方針

1 「まち・ひと・しごと創生」政策5原則

人 口減少の克服と地方創生を確実に実現するため、5つの政策原則に基づき、関連する施策を展開する。

① 自立性

各施策が一過性の対症療法的なものにとどまらず、構造的な問題に対処し、地方公共団体等の自立につながるようとする。

② 将来性

地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する施策に重点を置く。

③ 地域性

各地域の実態に合った施策を支援することとし、客観的データに基づき実状分析や将来予測を行い、「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するとともに、同戦略に沿った施策を実施できる枠組みを整備する。

④ 直接性

限られた財源や時間の中で、最大限の効果を上げるため、ひとの移転・しごとの創出やまちづくりを直接的に支援する施策を集中的に実施する。「産・官・学・金・労・言」の連携を促すことにより、政策の効果をより高める工夫を行う。

⑤ 結果重視

明確なPDCAサイクル*の下に、短期・中期の具体的な数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証し、必要な改善等を行う。

* PDCAサイクル：Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）という4段階の活動を繰り返し行うことで、継続的にプロセスを改善していく手法。「Plan」では、目標を設定してそれを達成するための行動計画を作成する。「Do」では、策定した計画に沿って行動する。「Check」では、行動した結果と当初の目標を比較し、問題点の洗い出しや成功・失敗の要因を分析する。「Act」では、分析結果を受けてプロセスや計画の改善、実施体制の見直しなどの処置を行う。「Act」が終わると再び「Plan」に戻り、次のサイクルを実施する。これを繰り返すことにより、螺旋状にプロセスが改善されることが期待されている。

Ⅱ－政策の企画・実行に当たっての基本方針

2 国と地方の取り組み体制とPDCAの整備

地 域経済および社会の実態に関する分析を確実にし、中長期的な視野により改善を図っていくためのPDCAサイクルを確立する。

① 福智町総合戦略（5か年）の策定

国の総合戦略を勘案し、福智町における人口の現状と将来の展望を提示する人口ビジョンを策定し、これを踏まえて、今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策を総合戦略としてまとめる。

② 政策目標設定と政策検証の枠組み

政策分野ごとに講ずべき施策の基本方向と具体的な施策を示し、各施策の効果を客観的に検証する指標である重要業績評価指標（KPI）を設定する。地域の課題に基づく適切な短期、中期の政策目標を設定し、効果検証のための委員会を設置するなど、総合戦略の進捗を検証しながら改善する「PDCAサイクル」を確立する。